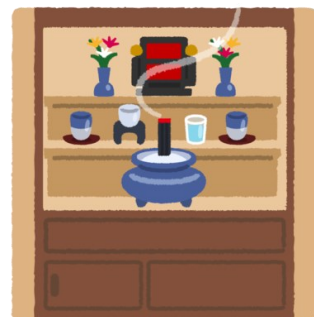


## 沖縄女性史から

## 「トートーメー（位牌）」

## 継承問題を考える



沖縄の“伝統文化”の一つに、親族組織の「門中制度」に結びついたトートーメー（位牌）継承の慣習があります。もともと士族層の祖先崇拝に根ざした慣例ですが、現在では過去の身分を問わず清明祭や旧盆などの行事をとおして、家族・親戚の交流を深める拠り所にもなっています。しかし、生活環境やライフスタイルの変化に伴い、いろいろ課題も出てきました。

本講座では、女性の視点から「トートーメー」の歴史をひもとき、課題をどう乗り越えるか、沖縄女性史家の宮城晴美さんに語っていただきます。

日時: 2024年 **6月8日(土)** 午後 **2時～4時**

みやぎ はるみ

講師：宮城 晴美さん（沖縄女性史家）

会場：なは女性センター学習室（なは市民協働プラザ1階）

対象者：関心のある方 / 定員：36人（事前申込先着順）

＊市在住・在勤・在学の方は、一時保育（2歳児以上未就学児）・手話通訳がご利用できます。5月31日（金）までにお申し込みください。

講座のお申込み  
は、QRコード  
からできます。



### 【講師プロフィール】（みやぎ はるみ）

1949年、座間味村に生まれる。沖縄の月刊誌の記者、編集者を経て、フリーライターに。『座間味村史』（全3巻）をまとめたあと那覇市職員となり、『那覇女性史』（前近代・近代・戦後編）を発行。その後、那覇市歴史資料室に異動し、『那覇市史』の編集に携わる。2010年3月那覇市歴史博物館を定年退職し、沖縄大学、琉球大学、沖縄国際大学で非常勤講師を10年勤める。沖縄女性史家。

著書に『新版母の遺したものの沖縄・座間味島「集団自決」の新しい事実』高文研（2008年）他

1994年より、新沖縄県史編集委員会委員を務め、現在副会長。女性史部会長として『沖縄県史女性史』（沖縄県教育委員会）を2016年刊行。



# 令和6年度 男女共同参画週間

期間：令和6年6月23日(日)～6月29日(土)

## 男女共同参画週間とは？

内閣府では「男女共同参画社会基本法」の公布・施行日である平成11年6月23日を踏まえ、毎年6月23日から29日までの一週間を「男女共同参画週間」として、様々な取組を行っています。

今年度は、「男女ともに自らの個性と能力を最大限に発揮できる社会を実現していくためのキャッチフレーズ」を募集し、応募総数2,348点の中から、審査の結果、以下の3作品が選ばれました。

(募集期間：令和6年1月10日～2月23日)

### 令和6年度キャッチフレーズ

最優秀作品 だれもがどれも選べる社会に (水津 幸恵さん 三重県)

優秀作品 性別ではなく「自分」の色で未来を描ける社会へ (森山 美彩さん 神奈川県)  
男でしょ？ 女でしょ？ だからなんでしょう？ もうやめましょう。(稲富 裕太郎さん 福岡県)

★なは女性センターでは、この期間に合わせ「男女共同参画社会」について分かりやすくまとめたパネル展示と、「戦後50年おきなわ女性のあゆみ～21世紀へのメッセージ～」のDVD上映を行います。  
上映時間 ①12:20～12:50 ②18:00～18:30 \*土曜は①のみ。  
上記以外の上映についてはお問い合わせください。

期間：6月17日(月)～6月29日(土)

\*6月23日(日)は休館日

場所：なは女性センター学習室前(パネル展示)  
なは女性センター交流室(DVD上映)

## 令和5年「那覇市民意識調査報告書」から

### 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方について、6割を超える市民が反対

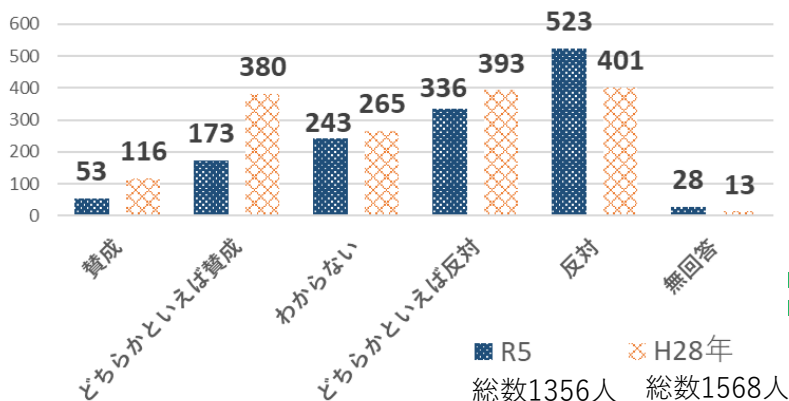
那覇市では、2年ごとに「市民意識調査」を実施しています。その中で、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方について、あなたはどのように思いますかという質問をしています。

令和5年度(第25回)の調査では、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方について「賛成、どちらかといえば賛成」の割合は16.7%、「反対、どちらかといえば反対」の割合は、63.4%、という結果が出ました。

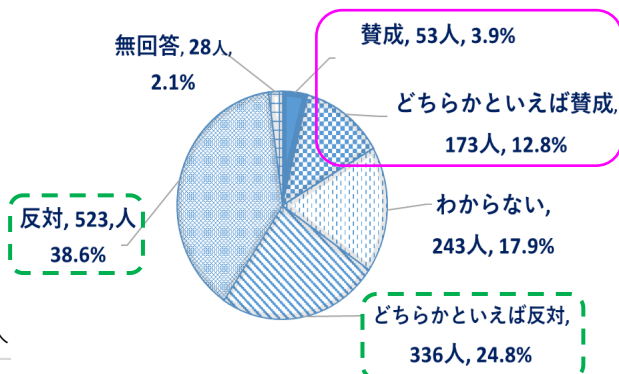
平成28年の調査での同じ質問では、「賛成、どちらかといえば賛成」の割合は31.6%、「反対、どちらかといえば反対」の割合は50.7%で、前回調査から比べると、固定的性別役割に反対の意見の伸び率が高く、6割を超えています。



### 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方について



### R5年度(総数1356人)



令和6年度

# 「那覇市男女共同参画研修参加費補助金」研修費用の一部を助成します！

あらゆる分野の男女共同参画の推進に不可欠な人材の育成に資する国内外の男女共同参画研修への参加促進を目的に、研修参加者に対し研修参加費用の一部を助成します。

**対象研修：**①沖縄県女性セミナー（海外・国内）「女性の翼」事業

②市が必要と認める男女共同参画研修事業

\* 県内開催の研修は補助対象外。\* 他団体からの補助金との併用は不可。

**補助対象者：**那覇市に住民登録のある人（市税完納者）で、研修参加後に市の男女共同参画事業へ積極的に参加・協力できる人。

**補助金額：**経費の2分の1以内（上限5万円）

**補助回数：**原則として同一人に対し1回限りとします。

**補助対象経費：**「補助対象研修」への参加費用 \*ただし、面接及び事前研修等に要する費用、渡航手続き、旅行保険、懇親会費等、その他個人の負担に属する費用は含まれません。

**締切：**2025（令和7）年1月31日（金）まで\*ただし、助成額が予算に達し次第、終了します。

なお、研修参加前の申請が必要です。

詳しくは、市ホームページ、または、なは女性センターまでお問い合わせください。



新着本を  
ご紹介します♪

★女性問題やジェンダーに関する図書の貸し出し及び資料の閲覧ができます。★貸出し期間：2週間 お一人2冊まで

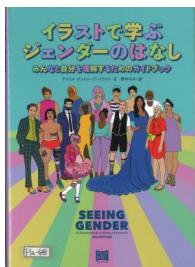
## ①『イラストで学ぶジェンダーのはなし』

みんなと自分を理解するためのガイドブック  
アイリス・ゴットリーブ：イラスト・文／野中モモ 翻訳  
フィルムアート社発行／2021年3月26日発行

私たちは多様な人々とさまざまな知見を共有し、ともに生きる時代に立っていますが、実際は人種や性別に基づく差別や偏見はなくなっておらず、いたるところで日常に悪影響をもたらしています。

本書ではクィア作家でアーティスト、そしてノンバイナリー（性別二元論に収まらないジェンダー）を自認する著者が、歴史、科学、社会学的な事象を通じつつ、実体験を交えながらジェンダーにかかわる様々なトピックについて丁寧に解説していきます。

おおきく複雑なテーマについての情報を、手に取りやすく美しい体裁にまとめ、学術的ではなく横断的な視点から説明することを目的として、イラストという共通言語で抽象的であいまいな概念をわかりやすく伝えてくれる本です。



## ②『ピンクとブルーに分けない育児』

ジェンダー・クリエイティブな子育ての記録

カイル・マイヤーズ 著／上田勢子 訳

明石書店発行／2022年10月4日発行

「ジェンダーをなくすのではなく、ジェンダーに基づく差別をなくしたい。」

生まれる前から子どもを男女の枠にはめることに、どんな意味があるのでしょうか？

ジェンダー・クリエイティブな子育ての目標は、ジェンダーをなくすことではなく、ジェンダーに基づく抑圧、格差、暴力をなくすことが目標だというノンバイナリーな視点を持つ著者の社会学者・カイルと、その夫ブレンド。「ズーマー」と名づけた子どもが自分で自分のジェンダーを見つかけられるように、ふたりは「性別にとらわれない育児」という道なき道を選びます。

すべての子どもが健全で公平な大人になれるように、私たち大人は、幼少期のジェンダー社会化にゆさぶりをかけることができると筆者カイルは説きます。



## センター講座関連本 『那覇女性史 なは・女のあしあと』 ＜前近代編・近代編・戦後編＞

那覇市総務部女性室編／琉球新報社事業局  
出版部発行／2001年3月30日発行

「女性の視点で綴った、沖縄の女性史」

那覇女性史『なは・女のあしあと』は1992年（平成4年）から2001年3月（平成13年）にかけて、那覇の女性史編さん事業として行われました。

はじめて女性の視点で、琉球王府時代から明治、大正、昭和を経て今日までの通史が綴られた本。各分野の専門家編集委員の討議や、ワーキンググループで市民から地道な聞き取り調査を行い、述べ90人近い執筆者の協力によって完成した全三巻の那覇女性史の編さんに当たったのが、当時、那覇市の職員だった宮城晴美さんでした。かつてつづられることのなかった女性の生き方を綴り、男性優位の社会を見直す大きな原動力となった事業です。

「なは女性センター」では、『なは・女性のあしあと』の貸出も行っておりますので、どうぞセンター図書室をご活用ください。



\* 編さんを担当された、宮城晴美さんを講師にお招きし、6/8（土）に講座を開催します。  
詳細は表紙をご覧ください。

|               |                   |
|---------------|-------------------|
| 開館時間          | 休館日               |
| 月～金:午前9時～午後9時 | 年末年始(12/29～1/3)   |
| 土曜日:午前9時～午後5時 | 日曜日・祝日・慰霊の日(6/23) |